

食料経済学特論 I (2単位)

担当者氏名 堀田・和彦

◆学習・教育目標

本特論では日本農業の再生に向け、日本農業の現状、日本農業再生のための方策について検討を行い、上記課題の解明に貢献できる人材の養成を目指す。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

日本農業再生 企業の農業参入 農業政策 経営者能力
 地域農業 六次産業化 _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	日本農業の課題1	家族経営の課題	本講義のねらいは、経済学、経営学の理論を通じて日本農業再生の方向性に関する考え方を身につけることにある。 講義を通じて、受講者は「分かったつもり」で済ませるのではなく、「分かりやすく説明できる」ようになる努力を求めたい。 討論形式での講義、発表者とコメントは事前に資料を熟読すること
2	日本農業の課題2	企業的農業経営の課題	
3	日本農業の課題3	集落営農の課題	
4	現代農業の歴史背景	家族経営の変遷	
5	現代農業の現状認識1	企業的経営の現状	
6	現代農業の現状認識2	上記経営のネットワーク化の現状	
7	地域社会の構築	集落の実態	
8	地域農業の構築1	六次産業化の可能性	
9	地域農業の構築2	作業受託組織の可能性	
10	農業経営の革新方向1	大規模化について	
11	農業経営の革新方向2	経営管理の高度化について	
12	農業経営の革新方向3	企業化について	
13	農業経営の管理革新1	生産管理について	
14	農業経営の管理革新2	販売管理について	
15	農業経営の管理革新3	資金管理について	

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

日本農業再生のポイント 上・下 木村伸男著 農林統計出版 2012年

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

特になし

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業内での発表および討論内容で判断

◆その他受講上の注意事項

